



12/8 (土)・9 (日) 地域の魅力にふれる イベントツアー

地域のありのままの風景を楽しむフットパス研修&イベントツアーが浦添城跡をスタートに行われました。フットパスとは、地域に昔からある風景を楽しみながら歩くこと (Foot) ができる小径 (Path) のことです。

ガイドスタッフの説明がリアルタイムに文字化するUDトーク (沖縄県難聴・中途失聴者協会による) もあり、イベントには県内外から多くの参加がありました。参加者は史跡や昔ながらの街並みを歩き、地域の魅力と新たな発見を楽しみました。ゴールの屋富祖公民館では、イベント参加者と地域の人たちが交流を通して、より深く地域の魅力にふれました。



12/11 (火) 英語の読み聞かせで深まった 地域の絆

浦添市の各学校では地域ボランティアの協力によって、子どもの登下校の見守り、読み聞かせなど、地域ぐるみでの子育て活動が継続的に行われています。今回、その地域学校協働活動の一環として米軍のボランティア5人による読み聞かせが神森小学校で行われました。

英語の読み聞かせ後は、児童一人一人とハイタッチをしたり、記念撮影をしたりとお互いに楽しいひと時を過ごしました。外間汐菜さんと松原琉夏さんは「大体の内容は理解できたけど、全部意味が分かるようにもっと英語の勉強をしたいと思った」と笑顔で今後の目標を語ってくれました。



11/30 (金) 愛する花に水をあげよう 「人権の花」植え付け式

前田小学校体育館で「人権の花」運動の植え付け式が行われました。この運動は、子ども達が花や緑を親しみ育てることで、命の大切さや相手への思いやりを身につけてもらうことを目的としています。

植え付け式では、マスコットの人KENまもるちゃん・人KENあゆみちゃんが見守る中、市長や人権擁護委員の皆さんが児童たちとベゴニアやビオラなどの花の苗を協力して植え付けしました。児童代表の吉平鈴奈さんは「友達や自分のいい所を見つけ、一人一人が思いやりのある行動をして人権を大切にすることを心がけていきたい」と話しました。



12/2 (日) 読書で広がる可能性

浦添市立図書館で第10回「2018うらそえYA文芸賞」が開催され、短編小説部門・詩部門合わせて147作品の応募の中から、煌賞を含む6作品が選ばれました。煌賞を受賞した又吉光さんは「自分の書いた文章で初めて受賞ができてとても嬉しい。文章を考えるのは大変だったが、それ以上に楽しかった」と受賞を喜びました。

表彰式後は、沖縄県読書推進運動協議会の共催で第1回ビブリオバトルが行われ、自分の好きな本を紹介しあう様子は活気にあふれていました。観覧者も交えた投票で、普天間高校2年伊地美穂さんが紹介した加藤シゲアキさんの『Burn.』が見事チャンプ本に選ばれました。



11/23 (金) 楽しみながら仕事体験 お仕事カーニバル

勤労感謝の日に、市役所で「第2回お仕事カーニバルINうらそえ市」が行われました。このイベントは市内の子ども達が消防士やパティシエなどの仕事を体験し、給料をもらって税金を支払い、その税金の使い道を考えるイベントです。

仕事を体験した子ども達は「消防車のホースから水がでるのがおもしろい」「警察の手錠が重たい」と楽しむ声や「おいしいお菓子を作るパティシエになりたい」と将来の夢を話す声などさまざまな声が聞こえてきました。また、税金の使い道ではお父さんやお母さんが子ども達と話しなが一緒に考えている姿が見えるなど、親子で仕事を学べる貴重な一日となりました。



11/27 (火) てだこ学園大学院創立30周年 「平成時代」と共に

てだこ学園大学院の創立30周年記念式典・祝賀会がてだこホールで行われました。式典は、在学中の第30・31期生と卒業生や関係者による市歌と、てだこ学園大学院讃歌の斉唱で幕を開け、これまでの功績を称え17人が表彰を受けました。功労賞を受賞した学園講師の伊狩典子さんは、しまくとぅばで代表挨拶を行い、会場は大きな拍手と笑顔に包まれました。

人生100年時代を見据えた生涯学習の推進や、社会奉仕活動を通し「高齢者から地域を盛り上げ、住みよいまちにしよう」という熱い想いを共有する式典となりました。



11/21 (水) 連携してまちづくりの活性化へ

浦添市、浦添市自治会長会、浦添・西原地区宅地建物取引業者会、浦添市社会福祉協議会の四者がそれぞれの業務特性を活かした自治会加入促進を行うことを目的とした「浦添市における自治会への加入促進に関する基本協定」の調印式が行われました。

本協定の発効により、アパート賃貸借契約、市外からの転入手続き、福祉サービスにおける戸別訪問などさまざまな場面で、四者が住民に対し地域自治会についての説明・加入受付を行い、自治会加入率をアップさせ、活力ある地域づくりの発展を目指します。

話題がいっぱい!
なかゆくい